



暴力団の現状と対策

【令和7年度版】

長野県警察本部
組織犯罪対策課

全国勢力

【R6.12.31現在】

団体名称	構成員	準構成員等	合計	構成率
六代目山口組	3,300	3,600	6,900	36.7%
神戸山口組	120	200	320	1.7%
絆会	60	80	140	0.7%
住吉会	2,100	1,100	3,200	17.0%
稲川会	1,600	1,100	2,800	14.9%
全暴力団	9,900	8,900	18,800	

注) 数値は概数のため、各項目の和は必ずしも一致しない。

○ 全国の特徴: 六代目山口組、神戸山口組、絆会、住吉会及び稲川会の総数に占める割合は約7割で、寡占状態が継続している。

○ 県内の特徴: 六代目山口組の占有率が8割を超えている。

県内勢力

【R6.12.31現在】

団体名称	組織数	構成員	準構成員等	合計	構成率
六代目山口組	16	100	160	260	83.0%
神戸山口組	0	0	10	10	2.5%
絆会	1	5	10	10	3.5%
住吉会	1	5	0	5	0.3%
稲川会	2	10	10	20	6.6%
全暴力団	24	120	190	320	

県内の暴力団犯罪の検挙、暴力団排除活動状況

【検挙状況】

	R2	R3	R4	R5	R6
検挙人員	161	156	147	159	127
内訳					
殺人	1	0	0	2	1
恐喝	7	6	3	4	1
覚醒剤	36	37	21	42	21
傷害	39	28	31	27	24
窃盗	15	20	17	24	18
詐欺	14	24	19	11	13
その他	49	41	56	49	49
暴対法に基づく行政命令	4	2	6	6	0
暴排条例に基づく行政命令	0	0	1	0	1

〈令和6年中の主な検挙事件〉

- 六代目山口組傘下組織組長らによる犯罪収益移転防止法違反事件の検挙(1月)
- 住吉会傘下組織組長による暴行事件検挙(1月)
- 殺人未遂事件で全国に重要指名手配中であった絆会幹部被疑者の検挙(2月)
- 六代目山口組傘下組織幹部らによる傷害事件検挙(6月)

長野県暴力団排除条例に基づく勧告の実施 ～縁起物(だるま)の購入名目の利益供与事案としては長野県内初！！～

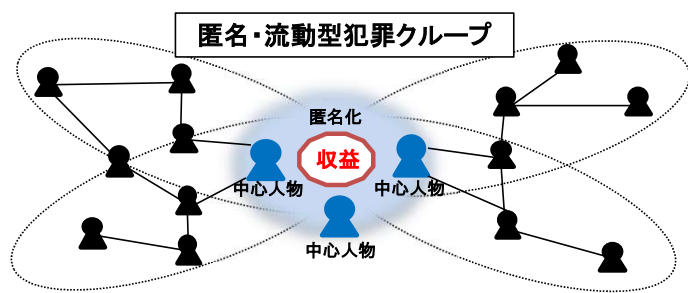
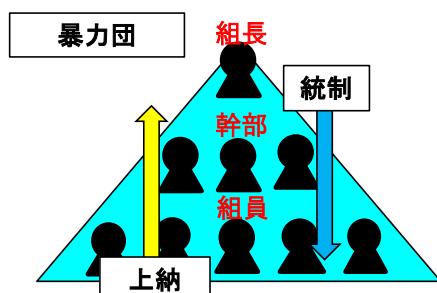
令和6年12月、暴力団に対し、縁起物のだるまを購入する名目で現金を支払った(利益を供与した居酒屋、飲食店等 22事業者
金品等を受け取った六代目山口組傘下組織幹部ら 3名
に対し、長野県公安委員会は、長野県暴力団排除条例第23条に基づき勧告(行政命令)をしました。
暴力団排除条例による勧告事案としては4例目、縁起物のだるまの購入名目としての利益供与事案としては**県内初**の事例となります。



匿名・流動型犯罪グループ

暴力団の勢力が減衰していく中、新たな特徴を有する「匿名・流動型犯罪グループ」が台頭し、治安対策上の脅威となっています。

匿名・流動型犯罪グループは、各種資金獲得活動により得た収益を吸い上げている中核部分は匿名化されており、また、SNSや求人サイトを通じるなどして緩やかに結び付いたメンバー同士が役割を細分化させ、その都度、犯罪実行者募集情報への応募者を末端の実行犯として、言わば「使い捨て」にするなど、メンバーを入れ替えながら多様な資金獲得活動を行うため、組織の把握やメンバーの特定が容易ではないという特徴を有しています。



暴力団は、構成員同士が擬制的な血縁関係によって結び付き、「組長」の統制の下に、地位の上下によって階層的に構成される組織